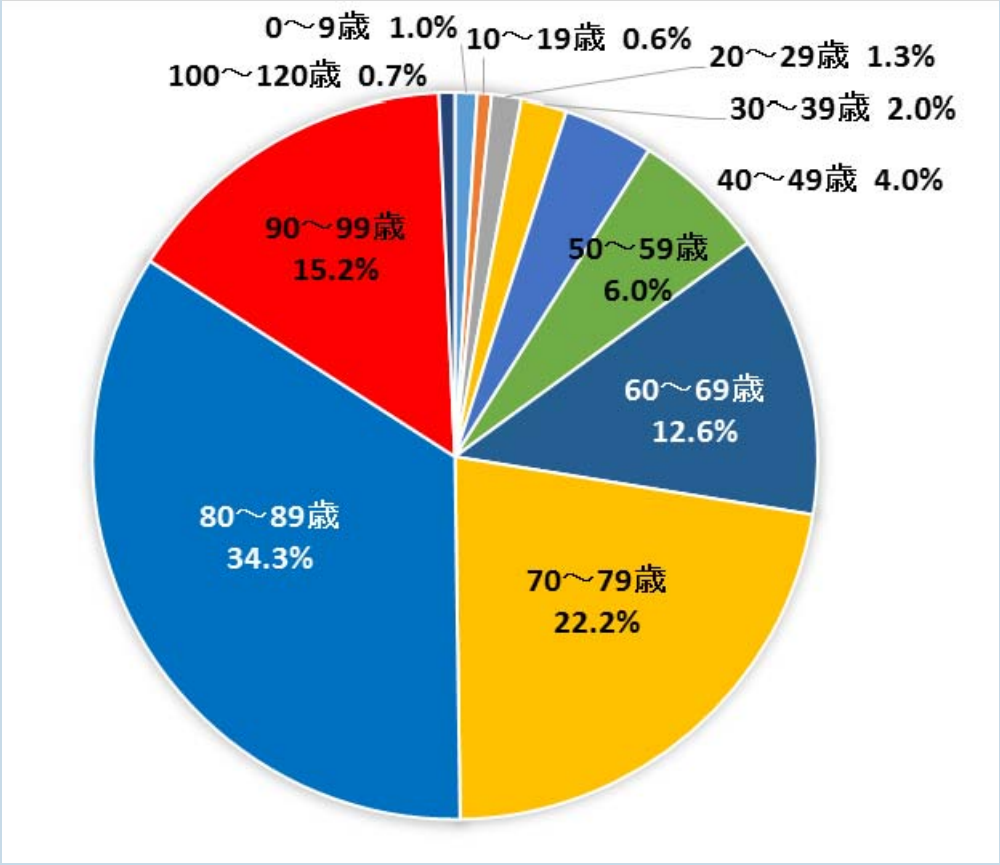
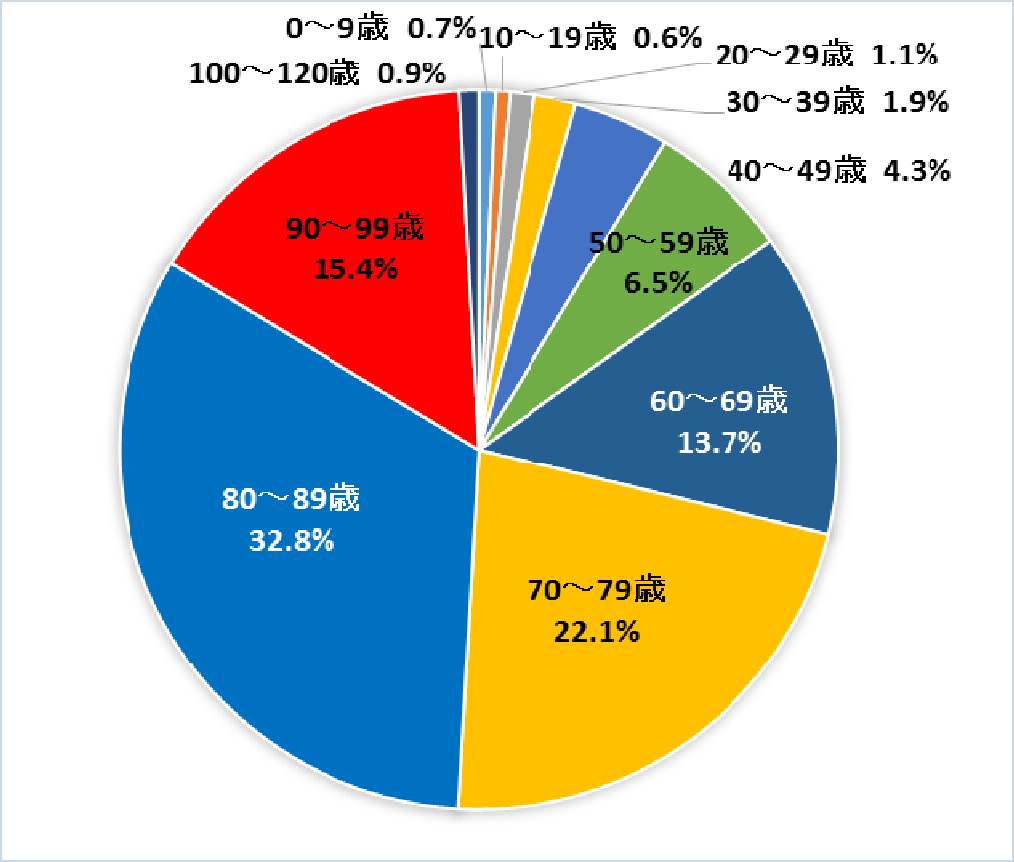
【参考】

一般市民による目撃なし／目撃ありの心肺機能停止搬送者数の年齢区分別割合

平成28年中の目撃がなかった心肺機能停止搬送者の年齢区分別割合



平成28年中の目撃があった心肺機能停止搬送者の年齢区分別割合



年齢区分	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100～120歳	総計
目撃なし（人）	695	453	933	1,452	2,849	4,257	8,944	15,787	24,372	10,812	505	71,059
目撃あり（人）	314	273	477	794	1,836	2,756	5,854	9,457	13,995	6,592	380	42,728

※「目撃あり」とは
○目の前で「倒れた」、「ぐったりした」等、また物音を聞いてすぐに駆けつけたところ倒れていた場合
○交通事故等の目撃者からの通報で、救急隊到着時には心肺機能停止状態であった場合
○通報時、通報者が生存を確認できたが、救急隊到着時には心肺機能停止状態であった場合

※消防庁調べ